

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道6号 久之浜バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 東北地方整備局								
起終点 自：福島県いわき市四倉町字六丁目 至：福島県いわき市久之浜町金ヶ沢	延長 5.5 km									
事業概要 国道6号は、東京を起点とし、土浦、水戸、いわきの各市を経て仙台に至る総延長391kmの主要幹線道路で、浜通り地方の産業・経済・文化の交流を支える重要な幹線道路である。 久之浜バイパスは、国道6号の隘路区間の解消及び交通混雑解消、沿道環境の改善することを目的とする道路である。										
H元年度事業化	都市計画区域外	H7年度用地着手								
H7年度工事着手										
全体事業費	約250億円	事業進捗率 31%								
計画交通量	22,100台/日	供用済延長 2.3km								
費用対効果分析結果	B/C : (事業全体) 1.6 (残事業) 2.1	総費用 : (残事業)/(事業全体) 149/245億円 (事業費 : 128/224億円 維持管理費 : 21/21億円)								
	総便益 : (残事業)/(事業全体) 307/390億円 (走行時間短縮便益 : 274/361億円 走行費用減少便益 : 24/22億円 交通事故減少便益 : 9/8億円)	基準年 : 平成15年								
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道における大型車のすれ違いが困難な江之網・波立TJを解消する） ・生活環境の改善・保全（夜間騒音要請限度を超過している久之浜地区の騒音レベル低下が見込まれる） 他15項目に該当										
関係する地方公共団体等の意見 久之浜バイパスは、交通渋滞の緩和や沿道環境の改善に重要な役割を果たすことが期待されており、いわき市長を会長とする一般国道6号常磐・久之浜バイパス、一般国道49号平バイパス改築工事促進期成同盟会より早期整備の要望（平成15年11月26日）を受け付けている。										
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。										
事業の進捗状況、残事業の内容等 【執行済み額】 事業費：77億円（進捗率31%〔暫定46%〕） うち用地費：13億円（進捗率50%）										
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成11年度事業延伸の後、環境調査において、オオタカの飛翔が確認され、環境調査に時間を要していたが、オオタカの営業は確認されず、現在は事業進捗に係る問題は解消しており平成20年代の全線供用を目標に事業推進を図る。										
施設の構造や工法の変更等 橋台、函渠等の2車線施工等による初期投資の削減を図っている。										
対応方針 事業継続										
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。										
事業概要図										
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>凡</th> <th>例</th> </tr> <tr> <td>（白線）</td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td>（黒線）</td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td>（斜線）</td> <td>うち供用中</td> </tr> </table>	凡	例	（白線）	供用中	（黒線）	再評価箇所	（斜線）	うち供用中	いわき市久之浜町久之浜 T99=19,284台/日 その他渋滞ポイント 久之浜駅前交差点 L=450m T=3分	
凡	例									
（白線）	供用中									
（黒線）	再評価箇所									
（斜線）	うち供用中									

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。